

■インドネシア：電源開発、計画の30%に届かず

エネルギー鉱物資源省（MEMR）は2016年12月20日、現行の電源開発計画（2015～2019年の5年間で3,500万kW）について、2016年11月末までに運開した発電所は計68万1,500kW（国営電力会社（PLN）：16万7,800kW、IPP：51万3,700kW）、工事を着工したのが計941万6,000kW（PLN：336万5,000kW、IPP：605万1,000kW）で、これらを合わせても目標の28.9%に留まっていると発表した。同省は、計画遅延の主な要因は用地取得問題にあり、なるべく早く解決して、開発を進展させるとしている。